

FACSIMIL EQUIPMENT

Patent Number: JP8023434

Publication date: 1996-01-23

Inventor(s): KONDO NORIHIKO

Applicant(s):: RICOH CO LTD

Requested Patent: ☐ JP8023434

Application Number: JP19940155530 19940707

Priority Number(s):

IPC Classification: H04N1/32 ; H04L12/54 ; H04L12/58 ; H04N1/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To easily input a reply request date by setting the reply request date through the depression of a reply request button when an electronic mail is sent with respect to the facsimile equipment.

CONSTITUTION:An operation section 3 of a transmitter side facsimile equipment enters reply request information including at least a reply request date, a transmission destination, and a sender name and stores the entered reply request information to a storage section 2. Then the reply request information stored in the storage section 2 is sent by a transmission NCU section 4 to an opposite facsimile equipment through a communication line 4a based on the prescribed protocol signal.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 8 - 2 3 4 3 4

(43) 公開日 平成 8 年 (1996) 1 月 23 日

(51) Int. Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H04N 1/32	Z			
	G			
H04L 12/54				
12/58				
H04N 1/00	B			

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平 6 - 1 5 5 5 3 0

(22) 出願日 平成 6 年 (1994) 7 月 7 日

(71) 出願人 0 0 0 0 0 6 7 4 7

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72) 発明者 近藤 典彦

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式

会社リコー内

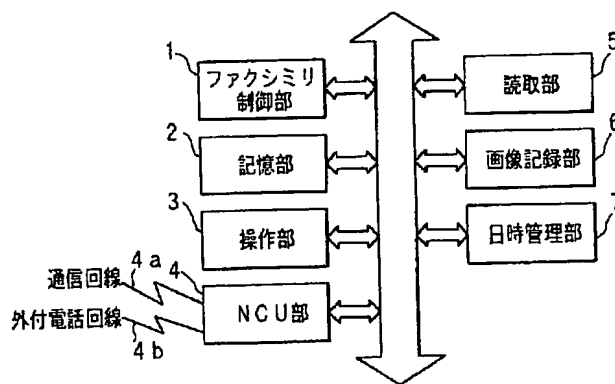
(74) 代理人 弁理士 有我 軍一郎

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ファクシミリ装置に関し、電子メールを送信する場合に、返信要求ボタンを押下することにより、返信要求日を設定できるように構成することで、返信要求日の入力を容易に行うことができるファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【構成】 送信側ファクシミリ装置において、操作部 3 で少なくとも返信要求日と送信先および発信者名を含む返信要求情報を入力し、入力された返信要求情報を記憶部 2 に記憶する。次に、記憶部 2 で記憶された返信要求情報を送信 NCU 部 4 が所定のプロトコル信号に基づいて通信回線を介して相手ファクシミリ装置に送信するように構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】少なくとも返信要求日および送信先を含む返信要求情報を入力する入力手段と、該入力手段で入力された返信要求情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段で記憶された返信要求情報を所定のプロトコル信号に基づいて通信回線を介して相手ファクシミリ装置に送信する送信手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】現在の日時情報を出力する日時情報出力手段と、通信回線を介して相手ファクシミリ装置から送信された通信情報を受信する情報受信手段と、該情報受信手段で受信した通信情報から少なくとも返信要求日と送信先および送信者名を含む返信要求情報を検出する検出手段と、該検出手段で検出された該返信要求情報を管理する返信要求情報管理手段と、前記日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が該返信要求情報管理手段で管理されている前記返信要求情報の返信要求日に達した場合には、前記返信要求情報管理手段で管理されている返信要求情報を記録紙に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 3】現在の日時情報を出力する日時情報出力手段と、少なくとも管理日時と用件および登録者名を含む業務管理要求情報を入力する入力手段と、該入力手段で入力された該業務管理要求情報を記憶して管理する管理手段と、前記日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が該管理手段で管理されている前記業務管理要求情報の管理日に達した場合には、前記管理手段で管理されている業務管理要求情報を記録紙に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファクシミリ装置に関し、特に、返信要求日の指定されたメールを送受信することができるファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ファクシミリ装置については、特開平 3 - 2 8 3 9 4 5 号公報記載の「電子メールシステムの返信処理方式」が報告されている。このものは、電子メールを受信したときに発信者に通知したいメッセージを、予め返信メールとして登録しておくことにより、電子メールを受信した後に、すぐに発信者に対して登録された返信メールを返信することができ、受信した電子メールを利用者が参照しなくても、自動的に返信メールを返信することができるという利点を有するものである。

【0003】また、他のファクシミリ装置としては、特開平 5 - 6 8 0 5 1 号公報記載の「電文メールシステム」が報告されている。このものは、電子メールを送信するときに、電子メールの識別子、送信先および返信期限を管理情報として登録しておき、登録した送信先から

返信メールを受信した場合には、該当する管理情報を削除し、一方、返信期限に達しても登録した送信先から返信メールを受信しない場合には、返信を要求するための打診メールを登録した送信先に送信するように構成することにより、登録した送信先から返信される確率を向上することができるという利点を有するものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、「電子メールシステムの返信処理方式」にあつては、電子メールを受信したときに、予め登録された返信メールを返信する構成となっていたため、受信した個々の電子メールに対応した的確な返信メールを返信することができないといった問題点があつた。

【0005】また、「電子メールシステム」にあつては、電子メールの識別子、送信先および返信時期を、送信側の装置に登録する構成となっていたため、返信期限に達した場合には、通信回線を介して打診メールを送信しなければならず、通信費が高むといった問題点があつた。また、一般にユーザは業務管理を行うために、管理日時や用件等を手帳に記入し、随時手帳を確認していたため煩わしく、しかも確認を忘れた場合には業務に支障をきたすといった問題点があつた。

【0006】そこで、請求項 1 記載の発明は、電子メールを送信する場合に、返信要求ボタンを押下することにより、返信要求日を設定できるように構成することで、返信要求日の入力を容易に行うことができるファクシミリ装置を提供することを課題としている。そこで、請求項 2 記載の発明は、返信要求日を含む返信要求情報が設定された電子メールを受信した場合に、返信要求情報を記憶しておき、返信要求日に達したときに、所定のフォーマットに基づいて返信要求情報を出力するように構成することで、ユーザに対して電子メールの返信を要求することができるファクシミリ装置を提供することを課題としている。

【0007】そこで、請求項 3 記載の発明は、原稿台に原稿がセットされていない場合に、返信要求ボタンを押下することにより、管理したい管理日時と管理したい用件および登録者名を登録することができ、登録された管理日に達したときに、所定のフォーマットに基づいて業務管理要求情報を記録紙に記録し出力するように構成することで、ユーザに対してスケジュールを通知できるファクシミリ装置を提供することを課題としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項 1 記載の発明は、上記課題を解決するため、少なくとも返信要求日および送信先を含む返信要求情報を入力する入力手段と、該入力手段で入力された返信要求情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段で記憶された返信要求情報を所定のプロトコル信号に基づいて通信回線を介して相手ファクシミリ装置に送信する送信手段と、を備えたことを特徴とす

る。

【0009】請求項2記載の発明は、上記課題を解決するため、現在の日時情報を出力する日時情報出力手段と、通信回線を介して相手ファクシミリ装置から送信された通信情報を受信する情報受信手段と、該情報受信手段で受信した通信情報から少なくとも返信要求日と送信先および送信者名を含む返信要求情報を検出する検出手段と、該検出手段で検出された該返信要求情報を管理する返信要求情報管理手段と、前記日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が該返信要求情報管理手段で管理されている前記返信要求情報の返信要求日に達した場合には、前記返信要求情報管理手段で管理されている返信要求情報を記録紙に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とする。

【0010】請求項3記載の発明は、上記課題を解決するため、現在の日時情報を出力する日時情報出力手段と、少なくとも管理日時と用件および登録者名を含む業務管理要求情報を入力する入力手段と、該入力手段で入力された該業務管理要求情報を記憶して管理する管理手段と、前記日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が該管理手段で管理されている前記業務管理要求情報の管理日時に達した場合には、前記管理手段で管理されている業務管理要求情報を記録紙に記録する記録手段と、を備えたことを特徴とする。

【0011】

【作用】請求項1記載の発明では、送信側ファクシミリ装置において、入力手段で少なくとも返信要求日および送信先を含む返信要求情報を入力し、入力された返信要求情報を記憶手段に記憶する。次に、記憶手段で記憶された返信要求情報を送信手段が所定のプロトコル信号に基づいて通信回線を介して相手ファクシミリ装置に送信する。

【0012】請求項2記載の発明では、受信側ファクシミリ装置において、情報受信手段が通信回線を介して相手ファクシミリ装置から送信された通信情報を受信し、受信した通信情報から検出手段が少なくとも返信要求日と送信先および送信者名を含む返信要求情報を検出する。次に、返信要求情報管理手段が検出された返信要求情報を管理する。ここで、日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が返信要求情報管理手段で管理されている返信要求情報の返信要求日に達した場合には、返信要求情報管理手段で管理されている返信要求情報を記録手段が記録紙に記録する。

【0013】請求項3記載の発明では、入力手段で少なくとも管理日時と用件および登録者名を含む業務管理要求情報を入力し、管理手段が入力された業務管理要求情報を記憶して管理する。日時情報出力手段から出力される現在の日時情報が管理手段で管理されている業務管理要求情報の管理日時に達した場合には、管理手段で管理されている業務管理要求情報を記録手段が記録紙に記録

する。

【0014】

【実施例】本発明について図面を参照して説明する。

(実施例1) まず、ファクシミリ装置のシステム構成図を説明する。図1は本発明(請求項1~3)の一実施例であるファクシミリ装置のシステム構成図である。

【0015】図1に示すように、ファクシミリ制御部1は、記憶部2に記憶された制御プログラムおよび各種データに基づいて、本装置の各部を制御する。記憶部2は、ROM (Read Only Memory)、RAM (Random Access Memory) およびSRAM (Static Random Access Memory) により構成され、制御プログラムおよび各種データを記憶する。さらに、記憶部2は、返信要求情報記憶部を備え、少なくとも返信要求日、送信先および発信者名を含む返信要求情報、あるいは少なくとも管理日時、用件および登録者名を含む業務管理要求情報を記憶する。

【0016】操作部3は、テンキー、ワンタッチキー、スタートキー、各種設定ボタン、LCD (Liquid Crystal Display) 等を備えるとともに、返信要求情報、あるいは業務管理要求情報の登録を要求する返信要求ボタンを備える。NCU (Network Control Unit) 部4は、モデム部を有し、送信信号を変調するとともに、受信信号を復調し、相手ファクシミリ装置との間でプロトコル信号を交換しファクシミリ伝送制御手順に基づいて通信を行う。さらに、NCU部4は、通信回線4aおよび外付電話回線4bの接続および切断の制御を行う。

【0017】読取部5は、図示しない原稿台にセットされた原稿の画像を光学的に読み取り、アナログ画像信号を画像データに変換するとともに、送信原稿の有無を検知するための原稿検知センサを有する。画像記録部6は、画像データを記録紙に物理的に記録し、コピーや受信原稿出力を行い、さらに、返信要求情報、業務管理要求情報を記録紙に記録する。

【0018】日時管理部7は、タイマーを有し、現在の日時情報を出力する。図2は、本発明(請求項1)の一実施例である返信要求定型文フォーマットを示す図である。以下、返信要求定型文フォーマットは記憶部2に記憶されているものとして説明する。また、本実施例においては入力された返信要求情報(返信要求日、送信先の宛名および送信者名)は返信要求定型文フォーマットに挿入された状態で、送信されるものとして説明する。

【0019】まず、「aa年bb月cc日」は本実施例において入力される返信要求日である。「xxxxxx殿」は本実施例において押下されたワンタッチボタンに登録されている送信先の宛名である。「○○○○○○より」は記憶部2に記憶されている送信者名である。図3は、本発明(請求項1)の一実施例である送信時の動作フローチャートである。

【0020】まず、ユーザは図示しない原稿台に原稿を

セットする(処理S1)。次に、ファクシミリ制御部1はユーザにより操作部3の返信要求ボタンが押下されたか否かを判定する(処理S2)。ユーザにより操作部3の返信要求ボタンが押下された場合には、ファクシミリ制御部1は操作部3のLCDに指示を表示し、ユーザに送信先を登録するように促す。ユーザはLCDに表示された指示に基づいて、送信先が登録されている操作部3のワンタッチボタンを押下し、ファクシミリ制御部1は押下されたワンタッチボタンと対応して登録されている送信先を記憶部2に記憶する(処理S3)。次に、ファクシミリ制御部1はLCDに指示を表示し、要求する返信要求日を設定するように促す。ユーザはLCDに表示された指示に基づいて、操作部3のテンキーを押下し、要求する返信要求日を入力する。次いで、ファクシミリ制御部1は入力された返信要求日を記憶部2に記憶する(処理S4)。

【0021】一方、ユーザにより返信要求ボタンが押下されなかった場合には、ユーザは操作部3のテンキー、あるいはワンタッチボタンを用いて送信先の宛先番号を入力する。次に、ファクシミリ制御部1は入力された宛先番号を記憶部2に記憶する(処理S5)。処理S4、あるいはS5の処理を終了した後に、ユーザは読取条件、送信条件等を設定する通常の設定フローを実行し(処理S6)、操作部3のスタートボタンを押下する(処理S7)。スタートボタンが押下されると、読取部5は原稿台にセットされた原稿の読み取りを開始する(処理S8)。

【0022】次に、処理S3およびS4において送信先、返信要求日の返信要求情報が入力された場合には、ファクシミリ制御部1は入力された送信先、返信要求日のそれぞれを返信要求定型文フォーマット(図2参照)の「xxxxxx殿」、「aa年bb月cc日」に挿入するとともに、記憶部2に予め記憶されている発信者名を返信要求定型文フォーマットの「○○○○○○より」に挿入し、1ページ目の画像データとして送信先のファクシミリ装置に送信する。

【0023】次いで、ファクシミリ制御部1は読取部5で読み取った原稿の画像データを、2ページ目以降の画像データとして送信先のファクシミリ装置に送信する(処理S9)。なお、返信要求情報が入力されなかった場合には、ファクシミリ制御部1は返信要求定型文フォーマットを送信せずに、読取部5で読み取った原稿の画像データを、1ページ目から送信すればよい。

【0024】図4は、本発明(請求項1)の一実施例であるプロトコル手順を示す図である。以下、本実施例の装置を送信側ファクシミリ装置として説明する。まず、図3に示されるフローの処理S7において、操作部3のスタートボタンが押下されると、NCU部4は通信回線4aと接続するとともに、送信先のファクシミリ装置(以下、受信側ファクシミリ装置とも言う)に対して発

呼する。受信側ファクシミリ装置が着呼して接続されると、NCU部4はコーリング・トーンCNGを送信し、非音声端末であることを送信先のファクシミリ装置に通知する。

【0025】これを受けて受信側ファクシミリ装置は、被呼端末識別信号CEDを送信し、受信側ファクシミリ装置が非音声端末であることを送信側ファクシミリ装置に通知する。次に、受信側ファクシミリ装置は非標準識別信号NSFを送信することによって、返信要求情報の挿入された返信要求定型文フォーマットを識別し、かつ返信要求日を認識する機能を有する旨を送信側ファクシミリ装置に通知するとともに、被呼端末識別信号CSI、デジタル識別信号DISを送信し、受信側ファクシミリ装置の装置情報を通知する。

【0026】これらを受けて送信側ファクシミリ装置は、非標準機能設定信号NSSを送信することによって、返信要求情報を挿入した返信要求定型文フォーマットを送信する旨および返信要求日を通知するとともに、送信端末識別信号TSI、デジタル命令信号DCSを受信側ファクシミリ装置に送信し、使用する機能を受信側ファクシミリ装置に通知する。

【0027】次いで、送信側ファクシミリ装置はトレーニング信号TRAININGおよびトレーニングチェックTCFを送信し、モデムスピードの調整を行う。モデムスピードの調整が完了し、受信側ファクシミリ装置の受信準備が完了した後に、受信側ファクシミリ装置は受信準備完了信号CFRを送信し、メッセージ(画情報)を送信してもよい旨を送信側ファクシミリ装置に通知する。

【0028】これを受けて送信側ファクシミリ装置は、リトレーニング信号RETRAINを送信した後に、TTI情報および返信要求情報の挿入された返信要求定型文フォーマットを1ページ目の画像データとして送信する。1ページ目の画像データを送信し終えた後に、送信側ファクシミリ装置はメッセージ終了信号EOMを送信する。これを受けて受信側ファクシミリ装置は、メッセージ確認信号MCFを送信側ファクシミリ装置に送信する。

【0029】次に、送信側ファクシミリ装置は、リトレーニング信号RETRAINを送信した後に、2ページ目の画像データとして、返信を要求する原稿を送信する。2ページ目の画像データを送信し終えた後に、送信側ファクシミリ装置はメッセージ確認信号EOMを送信する。これを受けて受信側ファクシミリ装置は、メッセージ確認信号MCFを送信側ファクシミリ装置に送信する。

【0030】同様の手順で、送信側ファクシミリ装置は返信を要求する送信原稿を送信し、この処理を送信原稿がなくなるまで繰り返す。最後の送信原稿の場合には、送信側ファクシミリ装置は送信原稿の画像データを送信

した後に、手順終了信号 E O P を送信する。これを受けて受信側ファクシミリ装置は、メッセージ確認信号 M C F を送信側ファクシミリ装置に送信する。次に、送信側ファクシミリ装置は切断命令信号 D C N を送信して通信回線を切断し、送信を終了する。

【 0 0 3 1 】 このように、本実施例（請求項 1）では、送信側ファクシミリ装置において、操作部 3 で少なくとも返信要求日および送信先を含む返信要求情報を入力し、入力された返信要求情報を記憶部 2 に記憶する。次に、記憶部 2 で記憶された返信要求情報を送信 N C U 部 4 が所定のプロトコル信号に基づいて通信回線を介して相手ファクシミリ装置に送信する。

【 0 0 3 2 】 従って、返信要求ボタンを押下することにより、返信要求情報の登録を要求できるように構成することで、返信要求情報を容易に登録することができ、利便性を向上することができる。

（実施例 2）本実施例（請求項 2）も実施例 1 と同様図 1 で説明したファクシミリ装置に適用することができる。本実施例では、本発明（請求項 2）の特徴部分を具体的に説明する。

【 0 0 3 3 】 図 5 は、本発明（請求項 2）の一実施例である受信時の動作フローチャートである。まず、通信回線を介して N C U 部 4 のモデム部が情報の受信を開始する（処理 S 1 1）と、ファクシミリ制御部 1 は受信した情報を記憶部 2 に記憶する（処理 S 1 2）。次に、ファクシミリ制御部 1 は記憶部 2 に記憶した情報から非標準機能設定信号 N S S を検出するとともに、非標準機能設定信号 N S S に基づいて、返信要求情報の挿入された返信要求定型文フォーマットが送信されたか否かを判定する（処理 S 1 3）。

【 0 0 3 4 】 非標準機能設定信号 N S S に基づいて、返信要求情報の挿入された返信要求定型文フォーマット（以下、単に返信要求定型文フォーマットとも言う）が送信されたと判定された場合には、ファクシミリ制御部 1 は非標準機能設定信号 N S S から返信要求日を検出するとともに、検出された返信要求日と対応させて、記憶部 2 に記憶されている 1 ページ目の画像データを返信要求定型文フォーマットとして、記憶部 2 の返信要求情報記憶部に記憶する（処理 S 1 4）。

【 0 0 3 5 】 次いで、ファクシミリ制御部 1 は記憶部 2 に記憶されている情報から、返信を要求された画像データ（2 ページ目以降の画像データ）を検出し、画像記録部 6 で記録紙に記録する（処理 S 1 5）。一方、非標準機能設定信号 N S S に基づいて、返信要求定型文フォーマットが送信されなかったと判定された場合には、ファクシミリ制御部 1 は記憶部 2 に記憶されている情報から、送信された送信原稿の画像データを検出し、画像記録部 6 で記録紙に記録する（処理 S 1 6）。

【 0 0 3 6 】 図 6 は、本発明（請求項 2）の一実施例である返信要求情報を出力する動作フローチャートであ

る。以下、この動作フローは所定の時間、あるいは一定時間毎に実行されるものとして説明する。まず、日時管理部 7 はタイマーを確認して、現在の日時を検知する。次に、記憶部 2 の返信要求情報記憶部に記憶されている返信要求日を読み出す（処理 S 1 7）。次いで、現在の日時と返信要求日とを比較することによって、返信要求日に達した返信要求定型文フォーマットがあるか否かを判定する（処理 S 1 8）。返信要求日に達した返信要求定型文フォーマットがある場合には、その返信要求定型文フォーマットを、画像記録部 6 で記録紙に記録する（処理 S 1 9）。

【 0 0 3 7 】 このように、本実施例（請求項 2）では、受信側ファクシミリ装置において、N C U 部 4 が通信回線を介して相手ファクシミリ装置から送信された通信情報を受信し、受信した通信情報からファクシミリ制御部 1 が少なくとも返信要求日と送信先および送信者名を含む返信要求情報を検出する。次に、記憶部 2 の返信要求情報管理部が検出された返信要求情報を管理する。ここで、日時管理部 7 から出力される現在の日時情報が記憶部 2 の返信要求情報管理部で管理されている返信要求情報の返信要求日に達した場合には、記憶部 2 の返信要求情報管理部で管理されている返信要求情報を画像記録部 6 が記録紙に記録する。

【 0 0 3 8 】 従って、受信した情報から返信要求情報を検出して管理し、現在の日時が返信要求情報の返信要求日に達した場合には、返信要求情報を記録紙に記録するように構成することで、返信を要求することができ、通信費を抑制することができるとともに、利便性を向上することができる。

（実施例 3）本実施例（請求項 3）も実施例 1 と同様図 1 で説明したファクシミリ装置に適用することができる。本実施例では、本発明（請求項 3）の特徴部分を具体的に説明する。

【 0 0 3 9 】 図 7 は、本発明（請求項 3）の一実施例である操作部 3 の L C D に表示される用件メニューを示す図である。操作部 3 の L C D には予め記憶部 2 に記憶された用件メニューが表示され、表示された用件の番号を操作部 3 のテンキーで選択することによって、用件を選択することができる。

【 0 0 4 0 】 図 8 は、本発明（請求項 3）の一実施例である業務管理要求フォーマットを示す図である。以下、業務管理要求フォーマットは記憶部 2 に記憶されているものとして説明する。また、本実施例においては入力された業務管理要求情報（登録者名、用件および管理日時）は業務管理要求フォーマットに挿入された状態で記憶部 2 の返信要求情報記憶部に記憶されるものとして説明する。

【 0 0 4 1 】 まず、「△△△△殿」は本実施例において入力される登録者名である。「本日は会議がありま

る用件である。「aa年bb月cc日 00:00」は本実施例において入力される管理日時である。図 9 は、本発明（請求項 3）の一実施例である業務管理要求情報の登録動作フローチャートである。

【0042】以下、原稿が原稿台（図示せず）にセットされていない状態において操作部 3 の返信要求ボタンが押下された場合には、ファクシミリ制御部 1 は「ユーザが業務管理要求情報の登録を要求した」と判断するものとして説明する。まず、ユーザは業務管理要求情報を登録するために、原稿をセットせずに操作部 3 の返信要求ボタンを押下する（処理 S 2 1）。原稿がセットされずに、返信要求ボタンが押下されたので、ファクシミリ制御部 1 は業務管理要求情報の登録が要求されたと判断して、操作部 3 の LCD に「業務管理しますか？」と表示し、ユーザに業務管理を行うか否かの選択を促す（処理 S 2 2）。ユーザは LCD に表示された指示に対して、業務管理を行う場合には、操作部 3 のテンキーの” # ”を押下し、業務管理を行わない場合には、テンキーの” * ”を押下すればよい。

【0043】ユーザが業務管理を行うと判断し、テンキーの” # ”を押下した場合には、ファクシミリ制御部 1 は管理日時を登録するように、操作部 3 の LCD に指示を表示する。ユーザは LCD に表示された指示に基づいて、テンキーを用いて管理日時を入力し、ファクシミリ制御部 1 はユーザによって入力された管理日時を記憶部 2 に記憶する（処理 S 2 3）。

【0044】次に、ファクシミリ制御部 1 は LCD に用件メニュー（図 7 参照）を表示する。ユーザは LCD に表示された用件メニューから用件を選択し、選択した用件の番号を操作部 3 のテンキーで入力する。システム制御部 1 はユーザによって入力された番号を記憶部 2 に記憶する（処理 S 2 4）。次いで、ファクシミリ制御部 1 は操作部 3 の LCD に指示を表示し、ユーザに登録者名を登録するように促す。ユーザは操作部 3 のテンキーを用いて、LCD に表示されるアルファベット、あるいは、ひらがなの一覧から所望の文字を選択し、登録者名を入力する。ただし、記憶部 2 に辞書等を記憶しておき、漢字入力をできるようにしてもよい。

【0045】次に、ユーザが登録者名の入力を終えた後に、ファクシミリ制御部 1 はユーザによって入力された登録者名を記憶部 2 に記憶する（処理 S 2 5）。次いで、ファクシミリ制御部 1 は操作部 3 の LCD に「次の業務管理要求情報を登録しますか？」と表示し、ユーザに次の業務管理要求情報を登録するか否かの選択を促す（処理 S 2 6）。LCD に表示された指示に対して、次の業務管理要求情報を登録する場合には、ユーザは操作部 3 のテンキーの” # ”を押下し、次の業務管理要求情報を登録しない場合には、テンキーの” * ”を押下すればよい。

【0046】ユーザが次の業務管理要求情報を登録する

ことを選択し、操作部 3 のテンキーの” # ”を押下した場合には、処理 S 2 2 に戻る。一方、ユーザが次の業務管理要求情報を登録しないことを選択し、テンキーの” * ”を押下した場合には、ファクシミリ制御部 1 は記憶部 2 に記憶された業務管理要求情報（登録者名、用件および管理日時）を業務管理要求フォーマットに挿入するとともに、管理日時と対応させて、業務管理要求情報の挿入された業務管理要求フォーマット（以下、単に業務管理要求フォーマットとも言う）を記憶部 2 の返信要求情報記憶部に登録する（処理 S 2 7）。

【0047】図 10 は、本発明（請求項 3）の一実施例である業務管理要求情報を出力する動作フローチャートである。以下、この動作フローは所定時間、あるいは一定時間毎に実行されるものとして説明する。まず、日時管理部 7 はタイマーを確認して、現在の日時を検知する。次に、記憶部 2 の返信要求情報管理部に記憶されている業務管理要求情報の管理日時を読み出す（処理 S 2 8）。次いで、現在の日時と管理日時とを比較することによって、管理日時に達した業務管理要求フォーマットがあるか否かを判定する（処理 S 2 9）。

【0048】管理日時に達した業務管理要求フォーマットがある場合には、その業務管理要求フォーマットを、画像記録部 6 で記録紙に記録する（処理 S 3 0）。このように、本実施例（請求項 3）では、操作部 3 で少なくとも管理日時と用件および登録者名を含む業務管理要求情報を入力し、記憶部 2 が入力された業務管理要求情報を記憶して管理する。日時管理部 7 から出力される現在の日時情報が記憶部 2 で管理されている業務管理要求情報の管理日時に達した場合には、記憶部 2 で管理されている業務管理要求情報を画像記録部 6 で記録紙に記録する。

【0049】従って、原稿がセットされていない状態において、返信要求ボタンが押下された場合には、業務管理要求情報の登録が要求でき、かつ現在の日時が登録した業務管理要求情報の管理日時に達した場合には、業務管理要求情報を記録紙に記録するように構成することで、ユーザの業務を管理することができ、利便性を向上することができる。

【0050】

【発明の効果】請求項 1 記載の発明によれば、返信要求ボタンを押下することにより、返信要求情報の登録を要求できるように構成することで、返信要求情報を容易に登録することができ、利便性を向上することができる。請求項 2 記載の発明によれば、受信した情報から返信要求情報を検出して管理し、現在の日時が返信要求情報の返信要求日に達した場合には、返信要求情報を記録紙に記録するように構成することで、返信を要求することができ、通信費を抑制することができるとともに、利便性を向上することができる。

【0051】請求項 3 記載の発明によれば、原稿がセッ

トされていない状態において、返信要求ボタンが押下された場合には、業務管理要求情報の登録が要求でき、かつ現在の日時が登録した業務管理要求情報の管理日時に達した場合には、業務管理要求情報を記録紙に記録するように構成することで、ユーザの業務を管理することができ、利便性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明（請求項 1 ～ 3）の一実施例であるファクシミリ装置のシステム構成図である。

【図 2】本発明（請求項 1）の一実施例である返信要求 10
定型文フォーマットを示す図である。

【図 3】本発明（請求項 1）の一実施例である送信時の動作フローチャートである。

【図 4】本発明（請求項 1）の一実施例であるプロトコル手順を示す図である。

【図 5】本発明（請求項 2）の一実施例である受信時の動作フローチャートである。

【図 6】本発明（請求項 3）の一実施例である返信要求情報を出力する動作フローチャートである。

【図 7】本発明（請求項 3）の一実施例である操作部の 20

LCDに表示される用件メニューを示す図である。

【図 8】本発明（請求項 3）の一実施例である画像記録部により出力される業務管理要求フォーマットを示す図である。

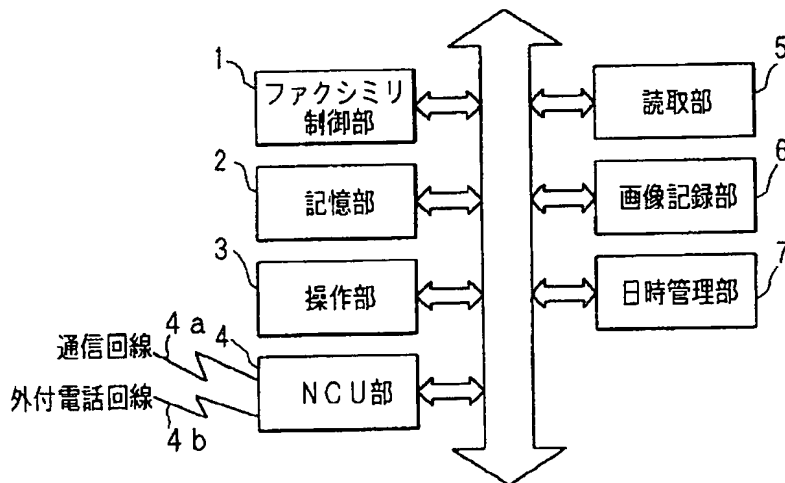
【図 9】本発明（請求項 3）の一実施例である業務管理要求情報の登録動作フローチャートである。

【図 10】本発明（請求項 3）の一実施例である業務管理要求情報を出力する動作フローチャートである。

【符号の説明】

- 1 ファクシミリ制御部（検出手段）
- 2 記憶部（記憶手段、返信要求情報管理手段、管理手段）
- 3 操作部（入力手段）
- 4 NCU部（送信手段、情報受信手段）
- 4 a 通信回線
- 4 b 外付電話回線
- 5 読取部
- 6 画像記録部（記録手段）
- 7 日時管理部（日時情報出力手段）

【図 1】



【図 2】

返信要求定型文
フォーマット

aa年bb月cc日
xxxxxxxxx殿
ooooooooより
依頼の件の回答日です。

【図 8】

業務管理要求フォーマット

△△△△殿
本日は会議が有ります。
aa年bb月cc日 00:00

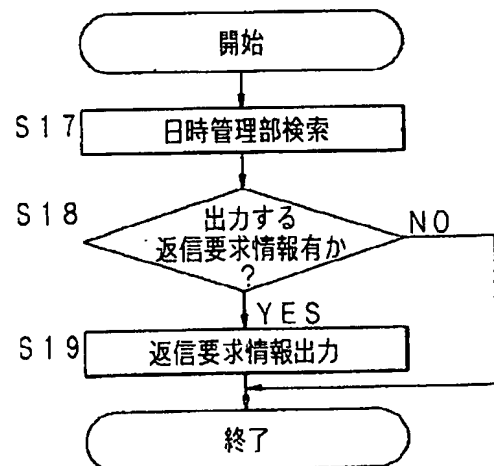
【図 7】

用件メニュー

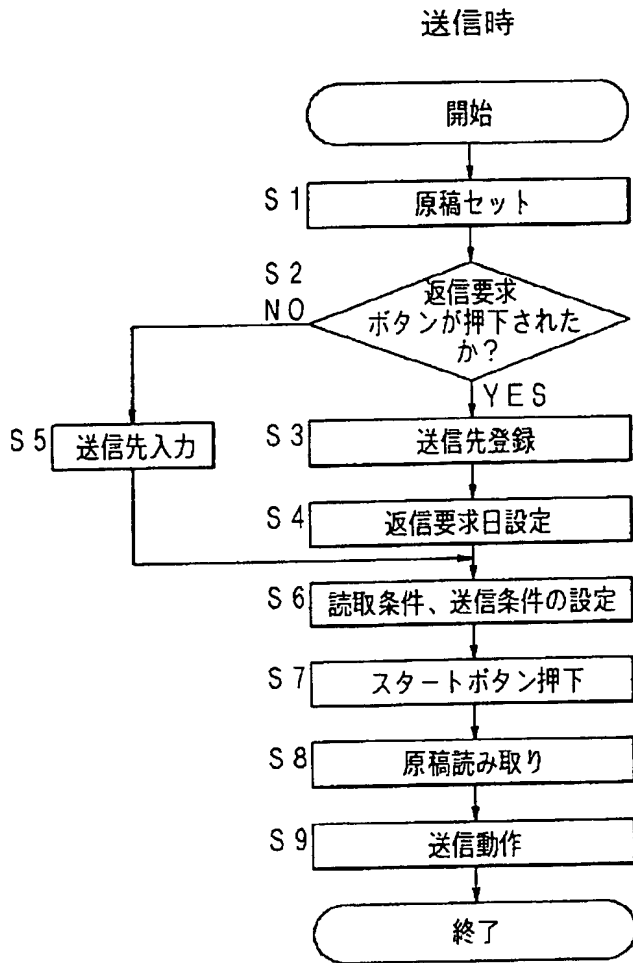
用件を番号で登録して下さい

1. 本日は会議が有ります。
2. 本日は得意先との約束が有ります。
3. 本日は伝票の締切日です。
4. 本日は報告書提出日です。
- ...

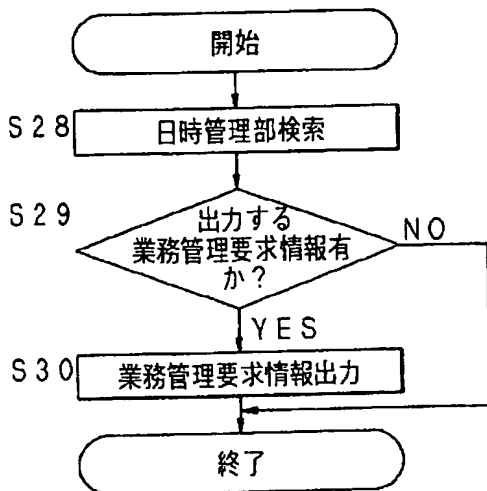
【図 6】



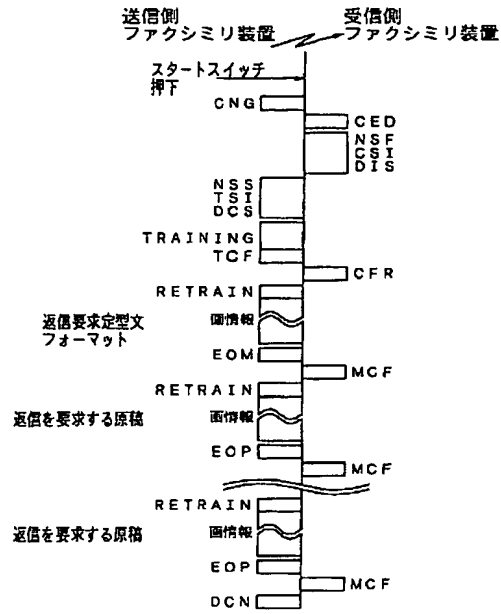
【図 3】



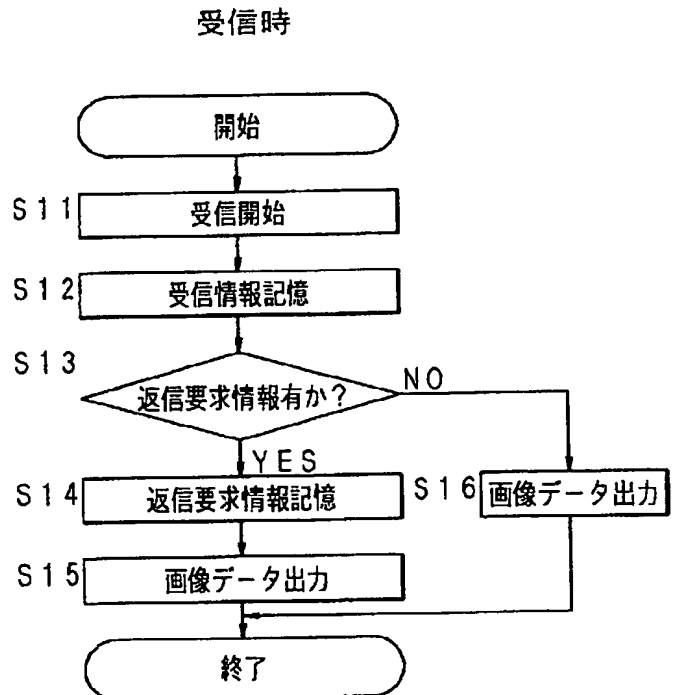
【図 10】



【図 4】

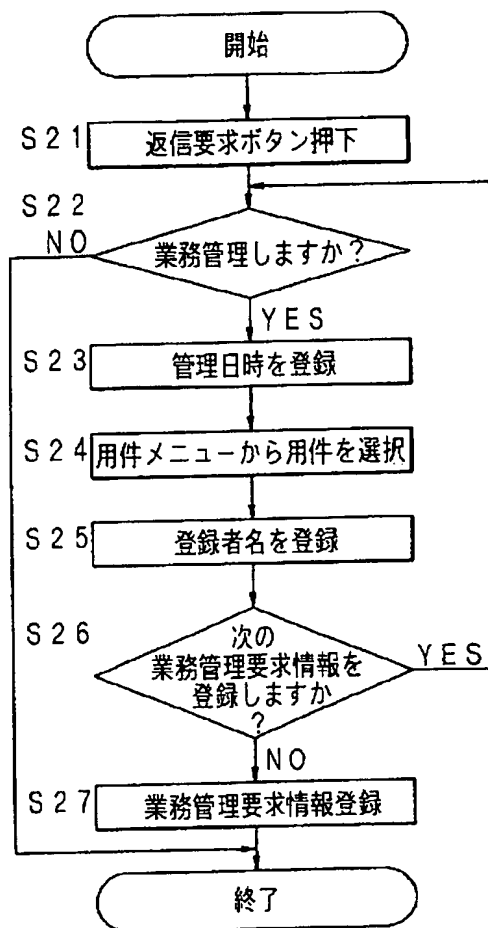


【図 5】



【図 9】

業務管理情報の登録



フロントページの続き

(51)Int.Cl. 6

識別記号

庁内整理番号
9466-5KF I
H04L 11/20

101

A

技術表示箇所